

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年 3月 31日
2次評価日（課長等）	2年 3月 31日

1 事業名	シルキーチャンネル事業	コード	15106
-------	-------------	-----	-------

2 担当部課	部等 企画政策部	課等 秘書広報課	作成者 佐藤 嘉泰
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	みんなで作る、確かな未来を拓くまち		
		政 策	地域コミュニティの振興	施 策	市民総参加の推進
		予算科目	シルキーチャンネル事業費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	テレビを使った動画配信により行政情報の発信を行う。 身近な情報発信を行い親しんでもらえる行政チャンネルとする。	
目的	対象者	市民全般
	意 図	行政情報を入手できるよう分かりやすく正確な情報を発信する

5 事業の実施内容		*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
<p>・広報おかや、HPなどによる情報発信に加え、テレビによる動画配信で行政情報の発信を行った。</p> <p>・インターネット配信が可能となったことで、効果的な広報活動を展開した。</p> <p>・テレビの持つ「操作性」「利便性」「速報性」を活用し、防災行政無線や防災メール等の緊急情報をL字放送システムで発信した。</p> <p>・多くの方に視聴していただきたいため、子どもから大人まで楽しめる番組として、子育てに関する番組や各種講座の紹介、講演会や説明会の特別番組、シリーズ番組の安定運用を図った。 （主な放送番組）</p> <p>岡谷イベント情報、地域おこし協力隊が行く、ぼくもわたしもおかやっ子、市役所のおしごと、野菜万菜、わが家のアイドル、太鼓まつり、シルクフェア、きつね祭り、選挙速報、議会中継、気象情報、各種講演会など。</p> <p>・広報おかや、HP、フェイスブック、新聞での番組案内などで周知を行った。</p>		
前年度の課題への対応	・市民の関心の高い話題やイベント、講演会などを番組として取り上げるとともに、幅広い世代の方に出演いただくなど楽しんで視聴できる番組作りを行った。	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	年間に放送した動画番組（自主制作番組）			単位	本
実績値	132	111	113		
*指標の説明	議会中継、緊急放送を除く				
② 成果指標（指標名）	視聴状況（認知度の向上）アンケート結果			単位	%
目標値	85	85	85	85	
実績値	31	31	31		
達成度	36.5%	36.5%	36.5%		
*指標の説明	シルキーチャンネルを知っており、かつ情報入手手段として活用している。				
*目標値の設定方法の説明	LCV加入世帯（視聴可能世帯）が市内の約80%を占めていることから市民アンケート結果を指標に使うことができる				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	6,218,474	10,591,236	11,618,076	11,826,000
経常経費	6,218,474	10,591,236	11,618,076	11,826,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明	なし			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000
正規職員の人数(人)	0.70	0.70	0.70	0.70
③ 合計コスト(①+②)	11,818,474	16,191,236	17,218,076	17,426,000
前年度比		137.0%	106.3%	101.2%
財源	11,818,474	16,191,236	17,218,076	17,426,000
一般財源				
内訳	0	0	0	0
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	89,534	145,867	152,372	
前年度比		162.9%	104.5%	
⑤ コストに関する補足説明	システム再構築による経費の増(平成30年度)			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。		0
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	100.0%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。		0
成果指標の目標値 達成度	36.5%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・動画での配信は、特性を生かした有効な情報発信ができる一方で、専門知識を必要とする部分があることから、自主制作番組の制作、番組運営に職員のスキル習得が必要である。 ・災害情報等のこまめな情報発信や、取材時PRちらしを配布する等、シルキーチャンネルの周知に努めているが、今後も継続的な啓発と工夫が必要である。 	
改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の情報入手手段の一つとして、より身近なツールとなるよう番組構成を考えるとともに、効率的、効果的な情報発信の運用を確立する。 	
	改善開始時期	令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	
-----------	--------	--	--